

課題	
主要事業名	事業概要
① 人口減少の進展	
地域ブランド戦略推進事業 《コミュニケーションプログラム》	『訪れたい・住みたい・住みつづけたいと思うまち』を目指したイメージ戦略。 《目指すまちのイメージの発信》 ・公共施設のピクトグラムにブランドロゴのキャラクターを使用したり、ブランド絵本やポスター、ブランドムービーなどを制作。
三世代同居・近居住宅支援事業	親の住む小牧市内に新たに三世代同居若しくは三世代近居をするための住宅新築・増築・改築・リフォーム・購入にかかる経費を一部補助。
② 高齢化の進展	
高齢者生活支援事業	65歳以上の要援護高齢者及びひとり暮らし高齢者等に対し、給付金の支給や必要なサービスを提供。 1 寝具乾燥クリーニング 2 外出支援サービス（要介護者対象） 3 食の自立支援 4 訪問理美容サービス など
緊急通報体制等整備事業	ひとり暮らし高齢者の急病や災害時に迅速かつ適切な対応するため、緊急通報電話を設置し、生活環境を整備。
地域包括支援センター運営事業	地域包括支援センターを設置し、高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続するための介護予防マネジメント事業、総合相談支援事業、権利擁護事業、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業等を委託にて実施。 * 地域包括支援センター 5 箇所(市内)うち東部地域 1 箇所
在宅医療・介護連携推進事業	介護保険の地域支援事業として市が主体となり実施し、在宅医療・介護連携サポートセンター（小牧第一病院内に設置）を拠点として、在宅医療・介護連携に関する相談支援、市民への在宅医療・介護関係者の研修など切れ目のない在宅医療・介護の提供体制の構築を図る。
生活支援体制整備事業	地域で高齢者を支えるため、地域における資源の発掘、人材の育成、調整をするために生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、住民主体のサロン活動、見守り活動・生活支援等サービスの提供体制の整備を行っている。
支え合いいきいきポイント推進事業	介護施設やサロンでのお手伝い、高齢者のちょっとした困りごと支援などを通じて、地域での支え合い・助け合い活動の促進や、高齢者の介護への理解を深めている。また活動に応じて、市内限定商品券と交換できるポイントを付与することで、活動に参加するきっかけづくりや、活動を続けていく励みとなるようにしている。
こまき巡回バス運行事業	交通空白地域のモビリティ向上、公共施設へのアクセスの確保のため巡回バスを運行することにより、公共交通の利便性が向上するとともに、温室効果ガスの排出削減による環境の保護、道路渋滞の緩和に加え、自家用車から公共交通機関の利用への転換を促すことで、高齢者等の運転による自動車事故の減少に寄与。 市内全域 19 コースを 18 台で運行 小型ノンステップバス（乗客定員 35 名）11 台 ワンボックス（乗客定員 8 名又は 10 名）7 台

③ 減少した児童・生徒	
公共ファシリティマネジメント推進事業	今後、公共施設の老朽化に伴い、建替えや大規模改修などの費用が大きな負担になることが考えられる。また少子高齢化の進展などによる施設への市民ニーズが変化してきている。このような状況に対応するため、平成29年3月に本市の公共施設のあり方の基本的な方針である小牧市公共ファシリティマネジメント基本方針を策定した。これに基づき、施設の維持、更新に係る費用を抑制し、財政負担の軽減、平準化を図る。
地域ブランド戦略推進事業 《コマキッズドリームプロジェクト》	『訪れたい・住みたい・住みつづけたいと思うまち』を目指したイメージ戦略。 ① こどもが夢に向かって挑戦する機会の創出 ・夢の教室及び市内産業見学会の開催や夢にチャレンジ助成金及び海外留学奨学金を支給するなど、こどもの夢を育み、こども自身が夢に向かって挑戦できる環境を創出。 ② こどもの夢を応援する体制の整備 ・市民や企業、市が一体となって、こどもの夢をまち全体で応援する仕組みをつくる。
《再掲》 三世同居・近居住宅支援事業	親の住む小牧市内に新たに三世同居若しくは三世同居をするための住宅新築・増築・改築・リフォーム・購入にかかる経費を一部補助。
④ 集合住宅及び空き家の利活用	
空家等対策事業	空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、空家等対策協議会を設置し、小牧市の空家等対策を推進。 ○空家対策セミナー及び相談会の実施 ・空家の所有者等を対象とした、セミナー及び相談会を実施し、空家等の適切な管理を促す。
⑤ 地域活力の向上	
企業立地推進事業	企業立地の推進を図ることにより、地域経済をより豊かにし、雇用力を高め、地域の活性化を図るとともに、財源の確保につなげ、より安定した財政基盤を確立することで、産業都市「小牧」の力を継続的に高める。 ① 小牧市内企業再投資促進事業 ・愛知県の補助制度と連携し、市内に立地する企業の再投資を支援。 ② 小牧市企業立地促進補助事業 ・市内に一定規模以上の工場等を立地する企業に対し、優遇制度として補助金を交付。 ③ 小牧市中小企業環境保全対策設備等導入補助事業 ・周辺的生活環境を保全する効果が見込まれる「騒音・振動・臭気」を低減する設備の新規導入又は改修等を行う中小企業に対し、補助金を交付。

こまき新産業振興センター運営事業	<p>平成 31 年 4 月、こまき新産業振興センターを開設。</p> <p>公募より選任されたセンター長を中心に、製造業をメインターゲットに、成長産業への参入、新事業展開、生産性革命の推進支援を図るため、企業訪問を中心としたマーケティング支援等のサポート活動を実施。</p> <p>企業支援に関するセミナーや企業間のマッチングイベントの開催、専門アドバイザーによる週 1 回程度の相談窓口開設等により市内中小企業を支援。</p>
新産業創出事業	<p>市内企業への経営安定化・技術力の向上に対する支援に加え、既存の産業集積資源を生かした新事業展開や創業者への支援を推進することにより、新たな需要の創造、新たな産業の創出により地域の活性化並びに雇用の創出を図っている。</p>
こまきプレミアム商品券発行助成事業	<p>平成 23 年度から小牧商工会議所と連携して実施している「地域限定商品券事業」について、平成 31 年度においても、身近な中小店舗を支援し、市民が暮らしやすい環境を維持するため、総額 11 億円分のプレミアム商品券を発行して一定の規模で継続している。</p>
<p>《再掲》</p> <p>地域ブランド戦略推進事業</p> <p>《コミュニケーションプログラム》</p>	<p>『訪れたい・住みたい・住みつづけたいと思うまち』を目指したイメージ戦略。</p> <p>《目指すまちのイメージの発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設のピクトグラムにブランドロゴのキャラクターを使用したり、ブランド絵本やポスター、ブランドムービーなどを制作。
⑥ 地域住民等との協働連携	
地域協議会設立推進・活動支援事業	<p>近年の都市化の進展やライフスタイル、価値観の多様化などを要因とする地域の“絆力”の低下や少子高齢化の進行に伴う様々な地域課題に対して、区（自治会）やその他の地域団体、地域住民の方々が連携協力し、地域づくりを補完する新しいコミュニティ組織として「地域協議会」を創設し、安心して暮らし続けられる地域づくりを目指している。</p> <p>※東部地域は 5 小学校区すべてで設立済。</p>
市民活動推進事業	<p>市民活動センターの運営や市民活動団体育成事業等を NPO に委託し、市民活動の活性化を図るとともに、市民活動助成金制度や協働提案事業化制度等を通じて、市民活動団体との協働を推進。</p>